

14時30分解禁

平成20年4月 全国百貨店売上高概況

平成20年5月19日

I. 概 況

1. 売上高総額	5,815億円余
2. 前年同月比	-3.4% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	93社 281店 (平成20年3月対比±0社0店)
4. 総店舗面積	6,799,458㎡ (前年同月比: 0.6%)
5. 総従業員数	103,023人 (前年同月比: 10.2%)
6. 3か月移動平均値	9-11月 -0.9%、10-12月 -1.1%、11-1月 -1.3%、 12-2月 -1.5%、1-3月 -1.0%、2-4月 -1.4%

〔参考〕平成19年4月の売上高増減率は-1.3% (店舗数調整後)

【4月売上の特徴】

2か月連続で前年同月比マイナスとなった。

4月は寒暖や晴雨を繰り返す不順な天候により春物衣料が不振だったほか、引き続き動きの鈍い高額品などを中心にほとんどの商品分野で前年を下回った。

各店が改装に注力した食料品、春の新商品で需要喚起した化粧品、月後半の気温上昇で動き始めた初夏物衣料、比較的活況であったセールや物産展、さらには4月の歳時記トピックスとして花見弁当が好調であったことなど、部分的にはプラス要素も見られたが、上記の天候要因以外に日曜日が1日減少したこと、大型改装が相次いだ昨春の反動減が出ていること、その他、売上計上方法の変更・外商特需の反動等の特殊要因を抱える店舗もあり、最終的には先月よりマイナス幅を広げる結果となった。

また、最近の景気減速基調に加えて、高齢者医療費負担や年金問題、ガソリン価格等一連の政治的な混乱が不安心理を煽り、個人消費にマイナス影響を与えたとの報告が多くある。

【要 因】

(1) 天 候 : 気象庁発表「4月の天候」の特徴は以下のとおり (一部抜粋)

◇ 北日本では晴れの日が多く気温も高かった。東・西日本では、月半ばを中心に低気圧が頻繁に通過したため曇りや雨の日が多かったが、後半は高気圧に覆われて晴れる日が続いた。

(2) 営業日数増減 29.8日 (前年同月比-0.1日)

(3) 土・日・祝日の合計 9日 (-1日・日曜日)

(4) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)

①増加した: 32店、②変化なし: 42店、③減少した: 78店、④不明: 41店

(5) 4月歳時記 (春物商戦、花まつり、昭和の日) の売上 (同上)

①増加した: 9店、②変化なし: 63店、③減少した: 41店、④不明: 80店

(6) 翌月売上見通し (回答店舗数で見る傾向値)

①増加する: 18店、②変化なし: 98店、③減少する: 21店、④不明: 56店

全国百貨店 売上高速報 2008年04月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
全 国	581,516,065	100.0	-3.4 (-2.9)
10都市	375,844,807	64.6	-2.8 (-2.4)
札幌	14,831,756	2.6	-4.8
仙台	7,982,650	1.4	0.7
東京	149,914,002	25.8	-0.7 (0.3)
横浜	31,873,890	5.5	-2.0
名古屋	33,354,741	5.7	-6.3
京都	22,275,884	3.8	-4.2
大阪	72,773,272	12.5	-4.1
神戸	15,308,523	2.6	-8.6
広島	12,151,331	2.1	-5.1
福岡	15,378,758	2.6	1.5
10都市以外の地区	205,671,258	35.4	-4.7 (-3.7)
北海道	3,884,389	0.7	-9.7 (-18.3)
東北	11,596,334	2.0	-4.9
関東	97,708,976	16.8	-4.7 (-2.3)
中部	16,170,336	2.8	-4.1
近畿	18,689,071	3.2	-3.1
中国	14,514,484	2.5	-2.9
四国	11,406,575	2.0	-3.8
九州	31,701,093	5.5	-6.1

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) ※
総 額	581,516,065	100.0	-3.4 (-2.9)
紳士服・洋品	44,184,008	7.6	-5.3 (-5.0)
婦人服・洋品	146,832,199	25.2	-6.3 (-6.0)
子供服・洋品	18,791,556	3.2	-3.7 (-3.3)
その他衣料品	16,706,398	2.9	-0.8 (-0.3)
衣 料 品	226,514,161	39.0	-5.5 (-5.2)
身のまわり品	76,714,817	13.2	-5.0 (-4.3)
化粧品	28,631,190	4.9	2.5 (2.7)
美術・宝飾・貴金属	30,324,642	5.2	-5.0 (-4.9)
その他雑貨	28,890,995	5.0	-3.7 (-2.9)
雑 貨	87,846,827	15.1	-2.2 (-1.9)
家 具	10,202,442	1.8	-3.3 (-3.1)
家 電	1,795,494	0.3	-16.1 (-16.1)
その他家庭用品	20,312,924	3.5	-3.5 (-2.6)
家 庭 用 品	32,310,860	5.6	-4.2 (-3.6)
生 鮮 食 品	28,532,779	4.9	1.2 (1.9)
菓 子	31,480,738	5.4	0.9 (1.3)
惣 菜	30,264,605	5.2	-0.9 (-0.5)
その他食料品	36,622,110	6.3	1.7 (3.8)
食 料 品	126,900,232	21.8	0.7 (1.7)
食 堂 喫 茶	16,040,093	2.8	-2.2 (-0.1)
サ ー ビ ス	6,348,496	1.1	-1.3 (0.6)
そ の 他	8,840,579	1.5	-5.4 (-5.4)
商 品 券	20,866,166	3.6	-7.9 (-7.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | -2.8% (店舗数調整後/2か月連続マイナス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -4.7% (// /10か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	-2.8	-1.8	2か月連続マイナス
札幌	-4.8	-0.1	8か月連続マイナス
仙台	0.7	0.0	5か月連続プラス
東京	-0.7	-0.2	2か月連続マイナス
横浜	-2.0	-0.1	2か月連続マイナス
名古屋	-6.3	-0.4	5か月連続マイナス
京都	-4.2	-0.2	2か月連続マイナス
大阪	-4.1	-0.5	2か月連続マイナス
神戸	-8.6	-0.2	2か月ぶりマイナス
広島	-5.1	-0.1	2か月連続マイナス
福岡	1.5	0.0	2か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-4.7	-1.7	10か月連続マイナス
北海道	-9.7	-0.1	6か月連続マイナス*
東北	-4.9	-0.1	2か月ぶりマイナス*
関東	-4.7	-0.8	10か月連続マイナス
中部	-4.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
近畿	-3.1	-0.1	3か月ぶりマイナス
中国	-2.9	-0.1	10か月連続マイナス*
四国	-3.8	-0.1	10か月連続マイナス
九州	-6.1	-0.3	8か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行したため(2005年までは6大都市)、連続性の観点から2007年1月からのトレンドとした。

NEWS LETTER

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、プラスは食料品。マイナスは衣料品、身のまわり品、雑貨、家庭用品。化粧品・菓子は前年比較を開始して以来16か月連続プラス、生鮮食品が12か月連続プラスとなった。また、その他食料品がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-3.4	—	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-5.3	-0.4	3か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-6.3	-1.7	10か月連続マイナス
子供服・洋品	-3.7	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-0.8	0.0	2か月連続マイナス
衣料品	-5.5	-2.2	10か月連続マイナス
身のまわり品	-5.0	-0.7	8か月連続マイナス
化粧品	2.5	0.1	16か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-5.0	-0.3	14か月連続マイナス*
その他雑貨	-3.7	-0.2	5か月連続マイナス*
雑貨	-2.2	-0.3	2か月連続マイナス
家具	-3.3	-0.1	5か月連続マイナス
家電	-16.1	-0.1	4か月連続マイナス
その他家庭用品	-3.5	-0.1	2か月連続マイナス
家庭用品	-4.2	-0.2	5か月連続マイナス
生鮮食品	1.2	0.1	12か月連続プラス*
菓子	0.9	0.0	16か月連続プラス*
惣菜	-0.9	0.0	2か月連続マイナス*
その他食料品	1.7	0.1	3か月連続プラス*
食料品	0.7	0.2	4か月連続プラス
食堂喫茶	-2.2	-0.1	3か月ぶりマイナス
サービス	-1.3	0.0	2か月連続マイナス
その他	-5.4	-0.1	7か月連続マイナス
商品券	-7.9	-0.3	10か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド

平成20年4月 東京地区百貨店売上高概況

平成20年5月19日

I. 概況

1. 売上高総額	1,499億円余
2. 前年同月比	-0.7% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭-0.9% (86.3%) : 非店頭0.2% (13.7%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 28店 (平成20年3月対比±0社0店)
5. 総店舗面積	964,776㎡ (前年同月比: 0.4%)
6. 総従業員数	19,483人 (前年同月比: 3.6%)
7. 3か月移動平均値	9-11月 0.2%、10-12月 0.1%、11-1月 -0.6%、 12-2月 -0.5%、1-3月 -0.1%、2-4月 0.3%

[参考] 平成19年4月の売上高増減率は-1.5%

【4月売上の特徴】

- (1) 天候不順や日曜日1日減・GWの日合わせの悪さなどの影響から、都内のほとんどの店舗で入店客数が大きく落ち込んだ。
- (2) これまで婦人服の基調トレンドであったワンピースの流行がピークアウトし、ブラウスやジャケットなどの単品アイテムにも動きが出始めた。
- (3) 好調が続く化粧品分野では、特に夏の紫外線対策として高級スキンケア商材の動きが活発化している。
- (4) 比較的順調に推移してきた靴やハンドバックなど服飾雑貨(身のまわり品)の動きが鈍化してきている。背景には大型ヒット商品の不在があげられている。
- (5) 個人消費に逆風となる社会経済環境の中で、顧客のプライス志向が強まっており、各店の客単価にもマイナスの影響が出ている。
- (6) 婦人もので話題となっていた機能性肌着が紳士分野でも大ヒットしている。

【要因】

- (1) 営業日数増減 29.5日 (前年同月比-0.5日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比)
 - ①増加した: 6店、②変化なし: 6店、③減少した: 8店、④不明: 3店
- (3) 4月歳時記(春物商戦、花まつり、昭和の日)の売上(同上)
 - ①増加した: 0店、②変化なし: 11店、③減少した: 2店、④不明: 10店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値)
 - ①増加する: 5店、②変化なし: 15店、③減少する: 0店、④不明: 3店

東京地区百貨店 売上高速報 2008年04月

※店舗数調整後 () が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%) *
総 額	149,914,002	100.0	-0.7 (0.3)
紳士服・洋品	12,612,042	8.4	-3.1 (-3.1)
婦人服・洋品	36,039,133	24.0	-4.5 (-4.0)
子供服・洋品	3,307,997	2.2	-0.5 (0.0)
その他衣料品	3,679,697	2.5	3.5 (3.5)
衣 料 品	55,638,869	37.1	-3.5 (-3.1)
身のまわり品	21,878,166	14.6	-0.5 (1.0)
化粧品	7,507,705	5.0	4.6
美術・宝飾・貴金属	8,827,893	5.9	-2.0
その他雑貨	9,362,108	6.2	4.2 (6.4)
雑 貨	25,697,706	17.1	2.0 (2.8)
家 具	3,179,435	2.1	-2.1 (-1.4)
家 電	657,750	0.4	-15.6
その他家庭用品	5,804,440	3.9	3.0 (3.8)
家 庭 用 品	9,641,625	6.4	-0.2 (0.5)
生 鮮 食 品	4,518,532	3.0	3.6
菓 子	7,334,384	4.9	1.8
惣 菜	6,788,433	4.5	-2.7
その他食料品	10,023,534	6.7	5.4 (11.0)
食 料 品	28,664,883	19.1	2.1 (4.0)
食 堂 喫 茶	3,787,006	2.5	-0.3 (5.1)
サ ー ビ ス	2,245,667	1.5	6.0 (9.5)
そ の 他	2,360,080	1.6	-6.6 (-6.3)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

○本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率(%)

商 品 券	3,948,613 千円	-4.6
従 業 員 数	19,408 人	3.2 (3.6)
店 舗 面 積	964,776 m ²	0.4

営 業 日 数	29.5 日	前年	30.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、雑貨、食料品がプラス。マイナスは衣料品、身のまわり品、家庭用品。化粧品・菓子は16か月連続プラス、生鮮食品が12か月連続プラスとなった。また、その他衣料品、その他雑貨、その他家庭用品、その他食料品がプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.7	-	2月連続マイナス
紳士服・洋品	-3.1	-0.3	3か月ぶりマイナス
婦人服・洋品	-4.5	-1.1	8か月連続マイナス
子供服・洋品	-0.5	0.0	3か月ぶりマイナス
その他衣料品	3.5	0.1	2か月ぶりプラス
衣料品	-3.5	-1.3	2か月連続マイナス
身のまわり品	-0.5	-0.1	12か月ぶりマイナス
化粧品	4.6	0.2	16か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-2.0	-0.1	6か月連続マイナス*
その他雑貨	4.2	0.2	4か月ぶりプラス*
雑貨	2.0	0.3	2か月ぶりプラス
家具	-2.1	0.0	3か月ぶりマイナス
家電	-15.6	-0.1	4か月連続マイナス
その他家庭用品	3.0	0.1	2か月ぶりプラス
家庭用品	-0.2	0.0	2か月連続マイナス
生鮮食品	3.6	0.1	12か月連続プラス*
菓子	1.8	0.1	16か月連続プラス*
惣菜	-2.7	-0.1	3か月ぶりマイナス*
その他食料品	5.4	0.3	3か月連続プラス*
食料品	2.1	0.4	4か月連続プラス
食堂喫茶	-0.3	0.0	3か月ぶりマイナス
サービス	6.0	0.1	2か月ぶりプラス
その他	-6.6	-0.1	18か月連続マイナス
商品券	-4.6	-0.1	2か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化したため、2007年1月からのトレンド